

The Artist's Beloved 猫展

作家が愛した Cats 展

― 藤沢市所蔵

招き猫亭コレクションを中心に―



ルイ・イカール「スイート・ミステリー」1935

2025
7.18 [金] – 9.28 [日]



開館時間：午前 9：30 – 午後 4：30（入館は午後 4 時まで）

休館日：火曜日（9 月 23 日〔火〕は祝日開館、翌 24 日〔水〕は休館）

※まねき猫を描いた
作品の中で
日本最古のものと
いわれている。

企画展

作家が愛した猫展

— 藤沢市所蔵 招き猫亭コレクションを中心に —

会場に待ってるにゃ!

【猫】とは実に不思議な生き物だ。飼い猫としてわれわれ人間と共に生涯を生きる者もいれば、地域猫として逞しくそのニャン生を全うする者もいる。さらには人間を受け入れることなく、野生として大自然の中で堂々と生き抜く種まで本当に様々だ。そして、姿かたちはもとより、一匹として同じ模様を持つ者もない。人間に個性があるように、【猫】の性格もまた非常にわかりやすく、個体の数だけ存在する。

気まぐれな中にも、抱きしめたいくなるような愛くるしさや、時に暗闇の中でゾッとするような悪魔のごとき妖艶さに姿を変える。それこそが【猫】。そのユニークなモチーフを愛する作家たちも、多種多様な表現力で【猫】を後世に残し続けている。

どの作品も、単なる被写体としてだけではなく、作者の鋭い観察眼や深い愛情表現がその筆遣いから伝わってくる。また、多くの作家が「猫と女性」を一緒に描き上げている点にも注目し作者の思いを探る。

今展では、神奈川県藤沢市所蔵の招き猫亭コレクションを中心に、国や時代、季節を問わず、洋画・日本画・立体造形など様々なジャンルを超えて作家に愛され、製作された魅力あふれる【猫】作品 150 点以上を展示します。

名立たるアーティストたちと時を共に過ごし、芸術の中で生き活きと輝き続ける猫たちの姿をこの展覧会を通して、ぜひご鑑賞ください。

猫好きな方はもちろん、今まで興味がなかったあなたもみんな一緒に【猫】たちのトリコに!

ルイ・イカール「スイート・ミステリー」1935



石川寅治「つれづれ」1934



藤島武二「猫」



オーブリー・ピアズリー「黒猫」1884



歌川豊国「七変化の内 女三宮 坂東三津五郎」江戸後期

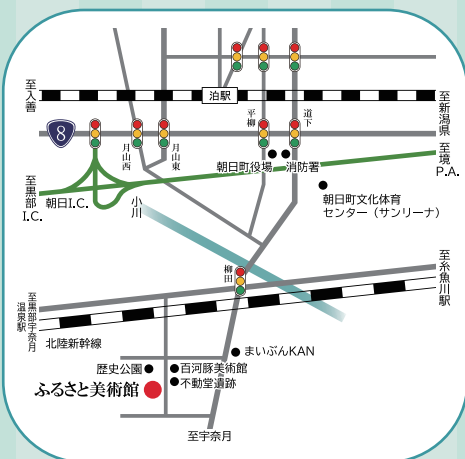
- 🐾 会 期 2025 年7月18日 [金] ~ 9月28日 [日]
 🐾 開館時間 午前9時30分 ~ 午後4時30分 (入館は午後4時まで)
 🐾 休 館 日 毎週火曜日 ※ 9月23日 [火] は祝日開館、翌24日 [水] は休館
 🐾 入 館 料 大人800円 小中高生200円 (20名以上の団体は2割引)

※「孫とおでかけ支援事業」対象施設
 ※開催中のすべての展覧会をご覧ください。

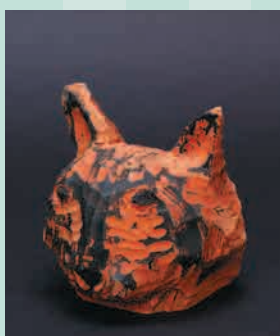
主催 朝日町 朝日町教育委員会 (一財) 朝日町文化・体育振興公社
 共催 北日本新聞社
 後援 北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ
 新川コミュニティ放送 みらーれTV 読売新聞北陸支社
 富山新聞社 北陸中日新聞 朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局
 協力 神奈川県藤沢市、藤沢市アートスペース

《交通案内》

- 〔北陸自動車道より〕
 ○朝日 I.C. から 約 10 分
 〔あいの風とやま鉄道 泊駅より〕
 ○タクシーで 約 15 分



生田宏司「三猫図」2010



三沢厚彦「Head" 猫"」2000

